

萩・石見空港開港三十周年記念にコースターを制作しました

地域の大切な公共交通機関である萩・石見空港が開港三十周年を迎えられることを知り、当校も三十周年に関する教育活動を実施し、生徒が萩・石見空港について学習することは出来ないかと考えておりました。4月に萩・石見空港関係者の皆様とご縁をいただき、本日まで多大なご協力をいただきながら、さまざまな教育活動を実施しております。その一つとして、コースターを制作し、記念式典が開催される7月2日（日）に萩・石見一羽田線をご利用いただいた皆様に記念としてお配りすることといたしました。

コースターはSDGsとアフターコロナに向けてみんなで力を合わせて前進していくことを意識し、地域の皆様からご寄贈いただいた飛沫防止用のアクリルボードを再利用し、当校の3年生の課題研究の授業においてレーザー加工機で制作しました。デザインは三十周年記念のロゴを中央にし、就航しているANAのボーイング737型機が力強く離陸していく様子を表しており、萩・石見一羽田線の往復で少しでもデザインを変えてあります。

パッケージの水引の三輪の葉結は、皆様のご旅行の安全と萩・石見空港の繁栄を願い、当校では、家庭科の授業において、水引について学ぶ中で制作をしました。また、ご賛同いただいた益田養護学校、益田高校、益田翔陽高校の生徒の皆さんにも結んでいただきました。水引の三輪の葉結びは青色で飛行機の形を示しており、ANAの青い翼が萩・石見の地と東京を結んでくれていることもイメージしています。

メッセージカードは当校の1年生の国語科の授業で生徒が手書きで書いたものを印刷してあります。

当校では、他にも地歴・公民科の授業で萩・石見空港を教材とした学習の実施や課題研究の授業でジオラマ等他を制作しており、今後も地域の大切な公共交通機関としての萩・石見空港に関する学習をすすめてまいります。

